



メディアコントロール教室



先週、総務省e-ネットプログラムを利用して、3年生以上の児童を対象に「メディアコントロール教室」を行いました。中学年は「安易なチャットや書き込みによるトラブル」高学年は「なりすましによるトラブル」を中心に、「個人情報」や「ネット依存」についても教えていただきました。

今日わかったことは、個人情報じょうほうを組み合わせると、だれなのかかわかるということです。もう一つは、「いぞん」とは自分を自分で止められなくなるということです。いぞん症にかかると、薬でなおせないということがびっくりしました。だから、個人情報じょうほうやいぞんはきけんだと思いました。【4年】



ゲームを毎日やり続けると「いぞん」になって、まだやり続けると「いぞん症」という病気になることを学びました。

また、自分の住所や自分の写真などをインターネットにのせると、誘拐されたりすることがあることを学びました。【3年】

いぞん症という病気にかからないように、今までより、ゲーム、スマホ、テレビの時間を短い時間にしてみたいと思いました。【3年】

いぞん症にならないためにルールを決めたいと思いました。たとえば「時間を決める」「やる場所を決める」などです。【4年】

私はいつもスマホでインスタやSNSを見るけれど、知らない人とメールをしたりしていないので、そこはこのまま続けたいと思いました。

SNSを見ている時に、今回見た動画みたいに友だちだと思ったけれど、本当は知らない人だったと言うようにならないように気をつけたいです。【5年】

メディアの使いすぎに気をつけて、これからメディアとつき合っていきたいなと思いました。【5年】

私はときどきわが家のルールを守れていないときがあるので、しっかり守っていぞん症にならないようにしたいし、知らない人に個人情報を教えないようにしたいです。【5年】

インターネットで知らない人と出会ったら、その人を簡単に信用しないことや、本当に信じて良いのかをよく考えることを心がけていきたいと思った。【6年】

ルールを守り、簡単に人を信用しないことが大事だと思いました。【6年】



全員、自分事として真剣に聞くことができ、ネットの使い方についてしっかり学ぶことができたと思います。ぜひ、感想に書いたように、これからの生活に活かしていきましょう。